

2022年度 第2四半期 京都ものづくり中小企業景況調査 報告書

<概況>

受注量は、業種によって差は見られるものの、全体的に若干の改善傾向が見られる。また、受注見通しについても、若干の改善傾向が見られるものの、引き続き慎重な見通し。

受注単価では、前回に引き続き原材料等の高騰に伴い「上昇」と回答する企業の割合が増加しているものの、資金繰りにおいては、若干の悪化傾向が見られた。

採算状況では、前回調査から大きな変化は見られず、受注余力についても、前回に引き続き約6割の企業が「余力あり」という結果となった。

<項目別の特徴>

- (1) 受注量 : 3四半期ぶりに前回比DI値が上昇するなど、全体的に若干の改善傾向が見られる。
- (2) 受注見通し : 若干の改善傾向が見られるものの、引き続き慎重な見通し。
- (3) 受注単価 : 前回に引き続き原材料等の高騰に伴う単価上昇の様子が窺える。
- (4) 資金繰り : DI値が7業種全てでマイナスとなるなど、若干の悪化傾向が見られる。
- (5) 採算状況 : 全体的に大きな変化はなかったものの、5四半期ぶりに黒字企業が3割を下回った。
- (6) 受注余力 : 「受注余力あり」とする企業が62.9%と、前回調査時から大きな変化はなかった。

<分析>

調査対象企業のうち24社に対して、訪問等により景況感についてのヒアリングを実施。

今回の調査では、「受注量」「受注見通し」の項目で小幅ながらも改善が見られるなど、経済活動の正常化に伴い、以前から好調が続く半導体や建設機械のほか、工作機械やプラント等の分野でも、徐々に受注が上向く企業が散見された。しかしながら半導体等の材料調達難によって、自動車を筆頭に各メーカーで生産調整・計画延期が続いていることから、受注が停滞している企業も多く見られ、全体的な持ち直しの動きを鈍化させている。

一方で、「採算状況」「資金繰り」の項目は、引き続きやや悪化傾向にあり、前回調査以降も続く原油・原材料費の高騰や円安の進行による調達コストの増加が影響していると見られる。また、電子部品の調達状況についても、「大手取引先からの支給部材も入らないようになった」との意見が聞かれるなど、さらに深刻化している様子が、電子機器や産業装置等の組立業務を受託している企業のほとんどが受注残及び仕掛品の増加による資金繰り悪化に悩まされている。

今後については、経済活動の正常化および脱炭素化・DX化の推進に伴い、設備投資需要の拡大が期待されるものの、材料不足や調達コストの上昇等、改善の目処が立たない下振れ要因から先行きを不安視する声も多く、引き続き楽観視できない状況が続く。

(注) 本報告書で使用するDIとはディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したとする企業の割合から「減少」・「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

調査対象期間 2022年7月～9月
(2022年9月末集計)

調査対象企業 300社 回答企業数 257社 (回答率 85.7%)

公益財団法人 **京都産業21**

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

(3) 調査時点

2022年9月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

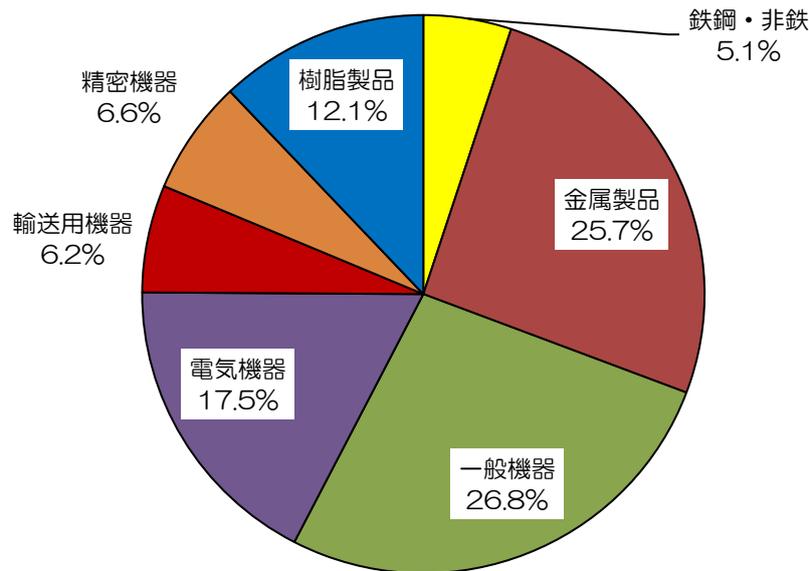
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）
※一部企業へはヒアリング調査を実施

(5) 回答状況

① 調査対象企業数	300社		
② 回答企業	257社		
③ 内訳			
鉄鋼・非鉄関係	13社	(5.1%)	
金属製品関係	66社	(25.7%)	
一般機器関係	69社	(26.8%)	
電気機器関係	45社	(17.5%)	
輸送用機器関係	16社	(6.2%)	
精密機器関係	17社	(6.6%)	
樹脂製品関係	31社	(12.1%)	
④ 回答率	85.7%	[前回：84.7%]	

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	5 1.9%		1 1.5%		1 2.2%			3 9.7%
~300万円	20 7.8%		8 12.1%	2 2.9%	3 6.7%	2 12.5%	2 11.8%	3 9.7%
301~999万円	12 4.7%		3 4.5%	6 8.7%		1 6.3%		2 6.5%
1000~2000万円	145 56.4%	8 61.5%	39 59.1%	42 60.9%	26 57.8%	5 31.3%	10 58.8%	15 48.4%
2001~5000万円	55 21.4%	5 38.5%	14 21.2%	14 20.3%	10 22.2%	3 18.8%	3 17.6%	6 19.4%
5000万円超	20 7.8%		1 1.5%	5 7.2%	5 11.1%	5 31.3%	2 11.8%	2 6.5%
合 計	257 100%	13 100%	66 100%	69 100%	45 100%	16 100%	17 100%	31 100%

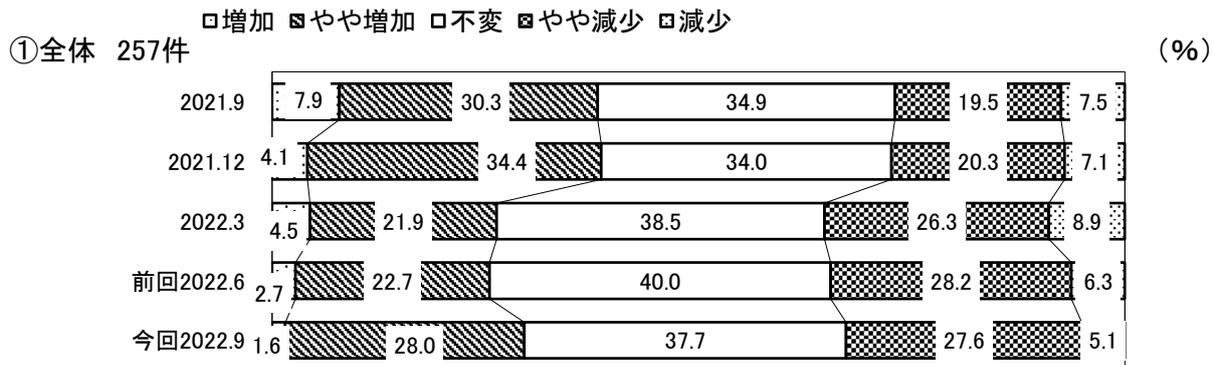
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

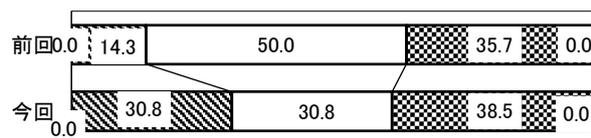
	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	20 7.8%	3 23.1%	3 4.5%	6 8.7%	5 11.1%			3 9.7%
6~10人	31 12.1%	1 7.7%	5 7.6%	10 14.5%	5 11.1%	3 18.8%	3 17.6%	4 12.9%
11~20人	68 26.5%	2 15.4%	20 30.3%	22 31.9%	9 20.0%	1 6.3%	5 29.4%	9 29.0%
21~30人	33 12.8%	3 23.1%	13 19.7%	10 14.5%	3 6.7%	1 6.3%	1 5.9%	2 6.5%
31~50人	46 17.9%	3 1.0%	13 19.7%	9 13.0%	10 22.2%	3 18.8%	4 23.5%	4 12.9%
51人以上	59 23.0%	1 7.7%	12 18.2%	12 17.4%	13 28.9%	8 50.0%	4 23.5%	9 29.0%
合 計	257 100%	13 100%	66 100%	69 100%	45 100%	16 100%	17 100%	31 100%

3. 調査結果

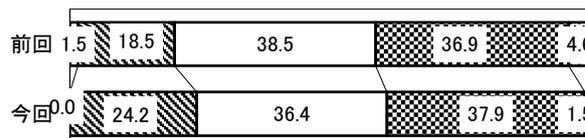
(1) 受注量について



②鉄鋼・非鉄 13件



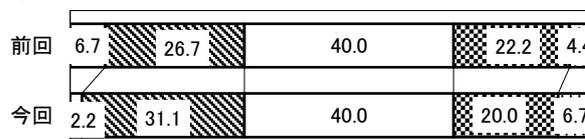
③金属製品 66件



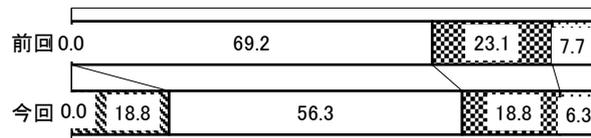
④一般機器 69件



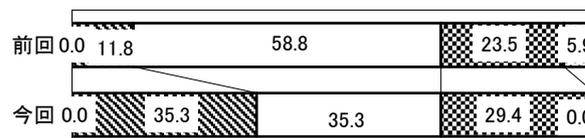
⑤電気機器 45件



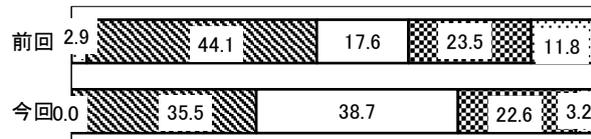
⑥輸送用機器 16件



⑦精密機器 17件



⑧樹脂製品 31件



○全体

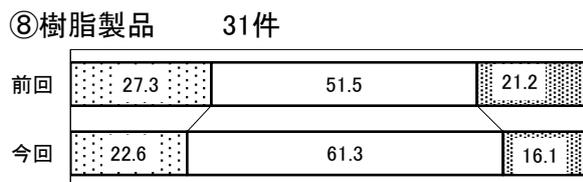
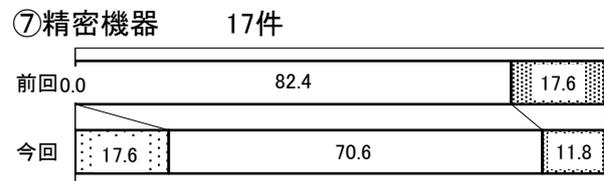
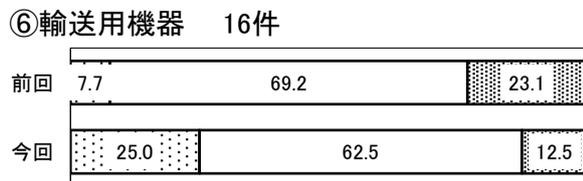
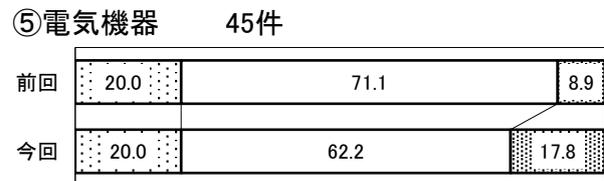
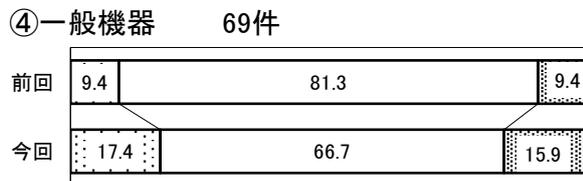
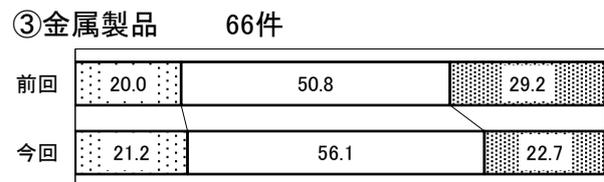
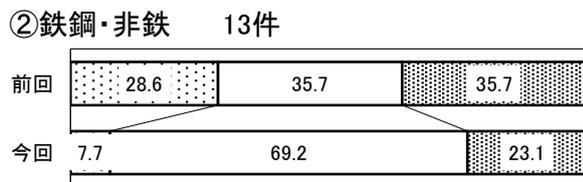
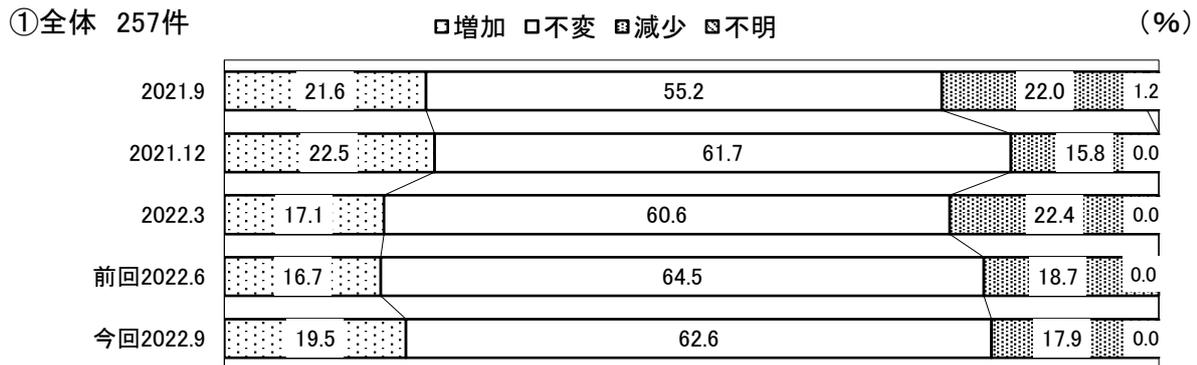
・7月～9月期の受注量の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲3.1となり、前期（4月～6月期）のD I値▲9.1と比べ6.0ポイント上昇と、全体的に若干の改善傾向が見られる。

○業種別

・D I値は、樹脂製品（9.7）、電気機器（6.6）、精密機器（5.9）の3業種でプラスとなり、一般機器（▲4.3）、輸送用機器（▲6.3）、鉄鋼・非鉄（▲7.7）、金属製品（▲15.2）の4業種でマイナスとなった。

・D I値を前回と比較すると、輸送用機器（24.5ポイント）、精密機器（23.5ポイント）、鉄鋼・非鉄（13.7ポイント）、金属製品（6.3ポイント）、一般機器（4.7ポイント）の5業種で上昇。電気機器（▲0.2ポイント）、樹脂製品（▲2.0ポイント）の2業種で低下している。

(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)



○全体

・次期(10月~12月期)の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は1.6となり、前期(4月~6月期)調査時のD I 値▲2.0と比べ3.6ポイント上昇し、若干の改善傾向が見られるものの、引き続き慎重な見通し。

○業種別

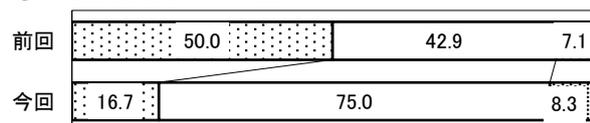
・D I 値は、輸送用機器(12.5)、樹脂製品(6.5)、精密機器(5.8)、電気機器(2.2)、一般機器(1.5)の5業種でプラス。金属製品(▲1.5)、鉄鋼・非鉄(▲15.4)の2業種でマイナスとなった。

・D I 値を前回と比較すると、輸送用機器(27.9ポイント)、精密機器(23.4ポイント)、金属製品(7.7ポイント)、一般機器(1.5ポイント)、樹脂製品(0.4ポイント)の5業種で上昇。鉄鋼・非鉄(▲8.3ポイント)、電気機器(▲8.9ポイント)の2業種で低下している。

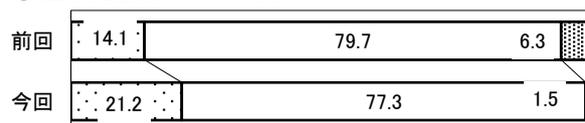
(3) 受注単価について



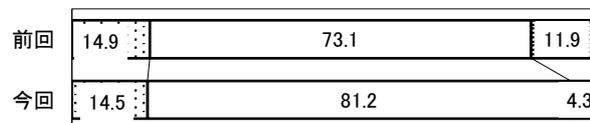
②鉄鋼・非鉄 12件



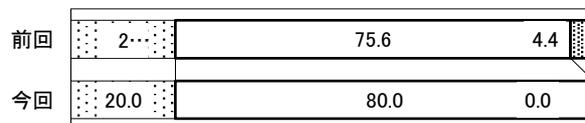
③金属製品 66件



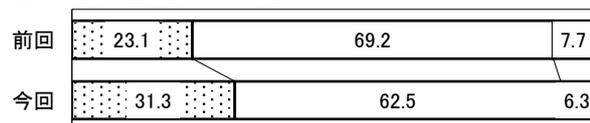
④一般機器 69件



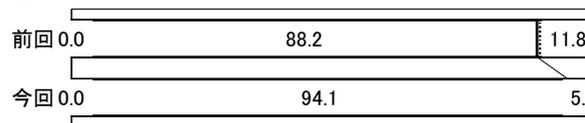
⑤電気機器 45件



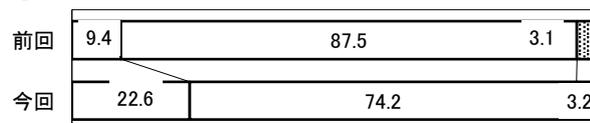
⑥輸送用機器 16件



⑦精密機器 17件



⑧樹脂製品 31件



○全体

・7月～9月期の受注単価の業況判断D I（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は15.3となり、前期（4月～6月期）のD I値8.8と比べて6.5ポイント上昇と、前回は引き続き原材料等の高騰に伴う単価上昇の様子が窺える。

○業種別

・D I値は、輸送用機器（25.0）、電気機器（20.0）、金属製品（19.7）、樹脂製品（19.4）、一般機器（10.2）、鉄鋼・非鉄（8.4）の6業種でプラス。精密機器（▲5.9）の1業種のみマイナスとなった。

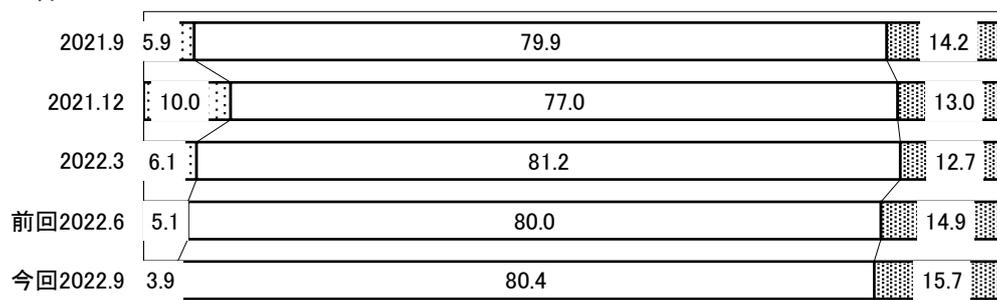
・D I値を前回と比較すると、樹脂製品（13.1ポイント）、金属製品（11.9ポイント）、輸送用機器（9.6ポイント）、一般機器（7.2ポイント）、精密機器（5.9ポイント）、電気機器（4.4ポイント）の6業種で上昇。鉄鋼・非鉄（▲34.5ポイント）の1業種で低下している。

(4) 資金繰りについて

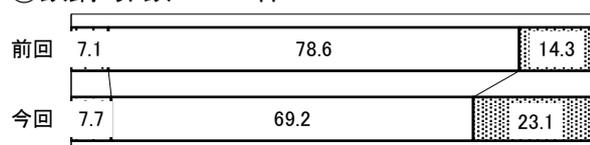
①全体 255件

□好転 □不変 ■悪化

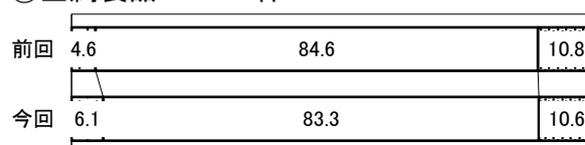
(%)



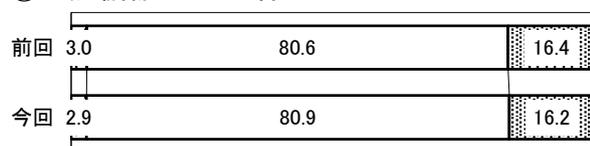
②鉄鋼・非鉄 13件



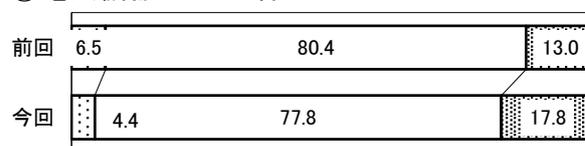
③金属製品 66件



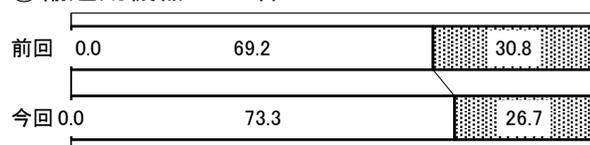
④一般機器 68件



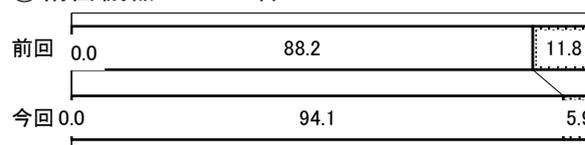
⑤電気機器 45件



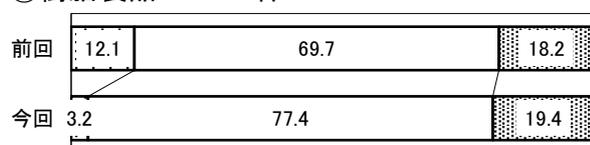
⑥輸送用機器 15件



⑦精密機器 17件



⑧樹脂製品 31件



○全体

・7月～9月期の資金繰りの業況判断D I（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲11.8となり、前期（4月～6月期）のD I値▲9.8と比べて2.0ポイント低下と、前回到引き続き若干の悪化傾向が見られる。

○業種別

・D I値は、金属製品（▲4.5）、精密機器（▲5.9）、一般機器（▲13.3）、電気機器（▲13.4）、鉄鋼・非鉄（▲15.4）、樹脂製品（▲16.2）、輸送用機器（▲26.7）の7業種全てでマイナスとなった。

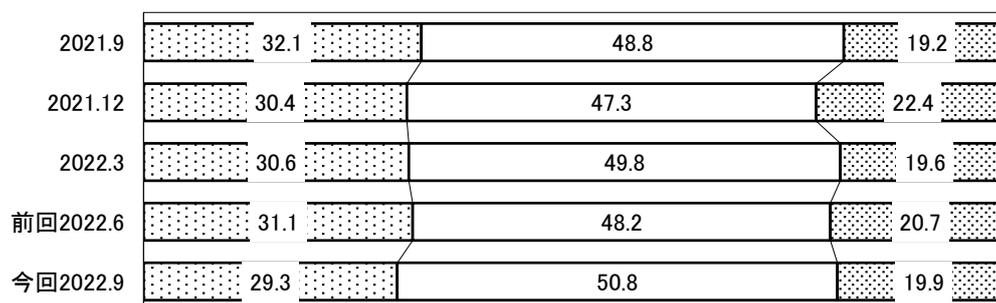
・D I値を前回と比較すると、精密機器（5.9ポイント）、輸送用機器（4.1ポイント）、金属製品（1.7ポイント）、一般機器（0.1ポイント）の4業種で上昇。電気機器（▲6.9ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲8.2ポイント）、樹脂製品（▲10.1ポイント）の3業種で低下している。

(5) 採算状況について

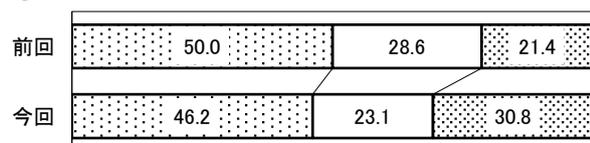
①全体 256件

□黒字 □収支トントン □赤字

(%)



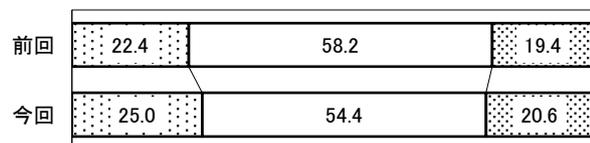
②鉄鋼・非鉄 13件



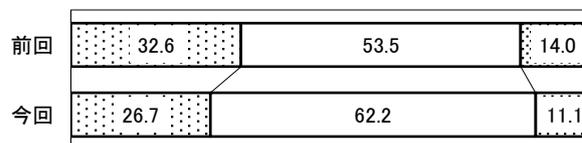
③金属製品 66件



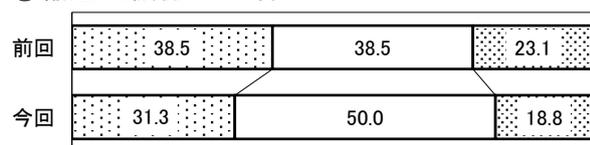
④一般機器 68件



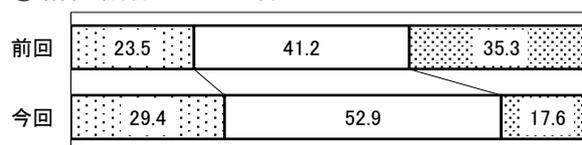
⑤電気機器 45件



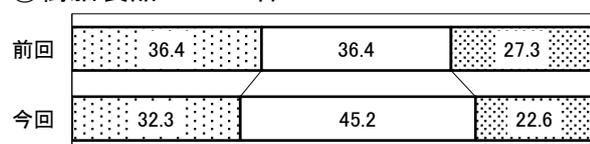
⑥輸送用機器 16件



⑦精密機器 17件



⑧樹脂製品 31件



○全体

・7月～9月期の採算状況の業況判断D I（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は9.4となり、前期（4月～6月期）のD I値10.4と比べ1.0ポイント低下と、全体的に大きな変化はなかったものの、5四半期ぶりに黒字企業が3割を下回った。

○業種別

・D I値は、電気機器（15.6）、鉄鋼・非鉄（15.4）、輸送用機器（12.5）、精密機器（11.8）、樹脂製品（9.7）、金属製品（7.6）、一般機器（4.4）の7業種全てでプラスとなった。

・D I値を前回と比較すると、精密機器（23.6ポイント）、一般機器（1.4ポイント）、樹脂製品（0.6ポイント）の3業種でプラスとなり、輸送用機器（▲2.9ポイント）、電気機器（▲3.0ポイント）、金属製品（▲6.4ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲13.2ポイント）の4業種でマイナスとなった。

(6) 受注余力について



○全体

- ・7月～9月期の受注余力の業況判断D I（「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は25.8となり、前期（4月～6月期）のD I値22.6と比べ3.2ポイント上昇した。
- ・7月～9月期は「受注余力あり」とする企業が62.9%と、前期と比較して1.6%の増加となった。

○業種別

- ・D I値は、樹脂製品（53.8）、電気機器（36.8）、一般機器（32.2）、金属製品（23.4）、精密機器（6.6）の5業種でプラスとなり、鉄鋼・非鉄（▲9.0）、輸送用機器（▲20.0）の2業種のみマイナスとなった。
- ・D I値を前回と比較すると、電気機器（12.4ポイント）、金属製品（9.2ポイント）、樹脂製品（3.8ポイント）、一般機器（3.6ポイント）の4業種で前回比プラスとなり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が増加。輸送用機器（▲3.4ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲32.0ポイント）の2業種で前回比マイナスとなり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が減少。精密機器の1業種で前回比増減なしとなった。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp